

就任のごあいさつ

徳島町政、

始まる。

前町長 死去に伴う町長選挙が1月27日（日）に行われ、徳島眞次氏が初当選を果たされました。これからのような町づくりが展開されるのでしょうか。



鞍手町長 徳島眞次

とくしましんじ・中山在住・53歳。

去る1月27日の町長選挙におきまして皆様のあたたかいご支援をいただき、鞍手町長として町政運営の重責を担わせていただくことになりました。

鞍手町をこよなく愛し、その発展のために弛まなご尽力をされていきました柴田町長が昨年12月に急逝され、喪に服す間もなく、町長選挙を迎え、当選の翌日からは、膨大な公務に直面している毎日ですが、あらためて柴田町長のご冥福をお祈り申し上げながらこれからの鞍手町のまちづくりを考えていく上では、その責任の重さに身の引き締まる思いがしています。

現在、本町では次世代を担う子どもたちの教育の場を充実していくための中学校統合の取り組みや、充実した地域医療サービスを継続して提供していくための町立病院の地方独立行政法人化などをはじめとする重要施策が進行中です。

これらを継承し、その実現に向けて精神誠意努力し

ていく覚悟でいますが、未来につながるまちづくりを進めるためには、行政運営の基盤となる財政はもとより、福祉、産業、雇用、環境など多岐にわたる行政分野において、さまざまな課題に取り組んでいかなければなりません。

就任後、直ちに平成25年度予算編成に着手しましたが、速やかに取り組めること、中長期的な視野をもって着実に取り組まなければならないこと、内容によっては見直しが必要と思われることなど、一つひとつ精査していく上では、思い切った発想の転換や決断を要するものもあると感じています。

「魅力ある住みたい町」「老若男女すべての人が笑顔で暮らせる町」を目標に、いったん決断すれば貫徹していく粘り強い行動力をもって頑張ってまいりますので、どうか町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いからお願ひ申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

魅力ある住みたい町

老若男女すべての人が笑顔で暮らせる町